

学校通信

若松中央

発行 北九州市立若松中央小学校
校長 成重 純一

＜若松中央小学校 めざす子ども＞

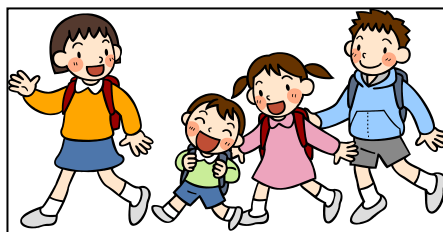
- 言葉を大切にし、言葉でよりよい人間関係を築く子ども
- 意味やねうちを考え、感じて行動する子ども
- 目標に向かって粘り強く努力する子ども

通学路を守って登下校を

7月になりました。1学期の終盤を迎え、どの学級でも学習のまとめにさしかかります。

さて、今年は、安全に力を入れていることを何度も繰り返してお伝えしてきました。お子さんは、毎日、決められた通学路を通して登下校をしているのでしょうか。

通学路は、交通量や道幅、歩道の有無、見通しのよさなど、様々な観点から総合的に判断して決めたものです。すべての子どもが、通学路を守って登下校すれば、一定の通行量が確保でき、独りぼっちになる恐れが減ります。反対に、通学路以外の道を通して登下校すれば、歩道や路側帯がない、車の通行量が多いなどの理由から安全性が確保できないばかりか、独りになる時間が増えます。独りになれば、万一の場合、目撃者がいない、あるいは少ないということが考えられます。学校でも指導をしますが、ご家庭でもお子さんに、通学路を守って登下校するよう話してください。



子どもたちの安全のために

校内で子どもたちが安全に過ごせるように設置しているものを紹介します。



誘拐事件対策の「イカのおすし」の掲示板です。下足センター正面の壁に掲示しています。「知らない人について**イカ**ない」「車や悪い誘いに**の**らない」「『たすけて』と**お**おごえを上げる」「**す**ぐに知らせる」「大人の人に**し**らせる」とあります。



児童用の通用門です。バーを渡していますが、目的はお分かりですか。下校時に、勢いよく道路に飛び出さないようにするためです。バーには、「さわってはいけません」と書いた表示が下がっています。

校納金の引き落としについて

今月は、7月6日(月)です。学期末の月なので、早めに引き落としとなります。